

平成28年度

社会福祉法人 和光福祉会事業報告書

1) 学童保育 富岡児童クラブの設置運営

名称	富岡児童クラブ
場所	荅北町富岡 富岡保育園内（富岡小学校裏）
指導者	野田 明子・赤尾 陽子・和氣 良英
対象児童	小学校1年～3年生 特に必要がある場合には、4年生以上も可

1 富岡児童クラブの内容

- ① 就労などで家に保護者がいない家庭の低学年児童の放課後を、児童が心豊かに安定して過ごせるような場と保護者に代わる人の提供。
- ② 子ども達の縦割り関係の構築。
- ③ 規則正しい学習習慣の形成。学校から帰ってきたらまず宿題をする。
宿題がなかったら、学童クラブが用意したプリントをする。
しかし子どもの教育の一番の責任者は、その保護者であり、子どもの学力を認識して頂くために、宿題のチェックは、必ず家庭でしていただく。
- ④ 手作りのおやつにより、安全な食品を提供すると共に、買い食いや市販のどぎつい味のお菓子から、なるべく子どもを遠ざける。
- ⑤ 自然観察や戸外で体を動かす様々な遊びを提供し、とにかくテレビゲーム等で引きこもりがちな生活からの脱却。テレビゲーム以外に友達とのもっと楽しい遊びがあることを子ども達に伝えていく。
- ⑥ マリンバ演奏の練習を通して、楽しい音楽体験と友達と協調することの心地よさを味合わせる。
- ⑦ 様々な具体的な場面を通して、自分で考えることのできる子どもの育成。

2 児童クラブの生活

- ① 開設日及び開設時間年間364日開設する。
 - ・ 平常
月曜日～金曜日
午後12時30分 ～ 午後7時30分まで
 - ・ 土曜日及びホリデー 午前8時から午後5時まで
 - ・ 春・夏・冬休み

月曜日～日曜日午前8時～午後5時まで

② デイリープログラム

PM. 1:00～2:30	帰園 宿題 音読・プリント
PM. 3:30	物語の読み聞かせ・合唱
PM. 3:45	おやつ・お掃除
PM. 4:30	遊び（伝承遊び・ボール遊び等）
PM. 7:00	帰宅 (園バス利用者は、バスで送る)

3 月 謝

5,000円（講師謝礼・教材代・おやつ代）

おやつは、保育園と同じ献立の手作りのものを出す。

2) 富岡保育園の設置運営

名 称	富岡保育園
種 別	保育所
住 所	熊本県天草郡苓北町富岡2, 476-1
定 員	80名

平成28年度富岡保育園事業報告書

I. 保育の基本

家庭や地域社会と連携を密にしながら家庭養育の補完を行い、子どもが健康、安全で情緒の安定した生活ができる環境を用意し、自己を十分に発揮しながら活動できるようにし、健全な心身の発達を図るようにした。

II. 保育の目標

子どもが現在を最もよく生き、望ましい未来を作り出す力の基礎を培うことを目標とし次の諸事項を目指して行った。

- 1 養護のゆきとどいたくつろいだ雰囲気の中で、子どもの様々な欲求を適切に満たし生命の保持及び情緒の安定を図ること。

- 2 健康安全など生活に必要な基本的な習慣を養い、心身の健康の基礎を培うこと。
- 3 人に対する愛情と信頼感及び人権を大切にすることを育てると共に、自主、協調の態度を養い、道徳性の芽生えを培うこと。
- 4 自然や社会の事象についての興味や関心を育て、それらに対する豊かな心情や思考力の基礎を培うこと。
- 5 生活する中で、言葉への興味や関心を育て、喜んで話たり、聞いたりする態度や豊かな言葉を養うこと。
- 6 様々な体験を通じて、豊かな感性を育て、創造性の芽生えを培うこと。

Ⅲ. 保育の実践

食育の推進：今年度も保育園の菜園をフル活用し、JA 茨北と保護者の方の支援を受け、たくさんな種類の野菜(きゅうり・トマト・茄子・ゴウヤ・オクラ・かぼちゃ・トウモロコシ・ほうれん草・青梗菜・小松菜・ピーマン・たまねぎ・大根・かぶ・冬ほうれん草・ブロッコリー・キャベツ・レタス・さつまいも)の栽培を園児と共におこない、植え付けから収穫までを経験することで、園児が野菜との楽しい出会いができた。

子ども達も、自分で世話をした野菜は特別なようで、野菜嫌いの子も少しは食べてみようとする姿も見られ、今年も偏食矯正に役立った。

Ⅳ. 行事予定

最終ページにある「平成28年度行事報告」の通り実施した。

Ⅴ. 保健・安全・給食

1 保健について

登園時において、子どもの健康状態を観察するとともに、保護者から子どもの状態について報告を受けるようにし、保育中に異常が発見された場合には、保護者に連絡すると共に医師に相談する等、臨機に適切な処置を講ずるよう努めた。

また、定期的に身体測定を行うとともに、嘱託医による内科及び歯科の健康診断を実施し、

健康や発達状態の把握等に努めた。

乳児クラスで危険なRSウイルスをはじめ、例年見られる手足口病、ヘルパンギーナ、ノロウイルスなどの各種感染症およびO-111といった食中毒菌の発生に気をつけ、当園の衛生管理マニュアルをもとに消毒の徹底及び手洗いの励行に努めた。

おかげで「28年度も感染症の流行が全く見られなかった」と喜ぶことができた。

食育では元気野菜の栽培体験はもとより、クッキング保育に力を入れ、28年度も3歳以上児クラスでは、各クラス、月1回は実施するようにした。

2 給食について

給食は、子どもの健康、発育、発達に欠くことが出来ない極めて重要なものでありその実施に当っては、乳幼児の必要な栄養量の確保、嗜好を生かした調理を行うと共に将来のよい食習慣の基礎（薄味・野菜を食べる・規則正しい食事・栄養バランスの取れた食事）を養うようにし、また、食文化を子ども達の中に伝えるべく、行事食や季節にも配慮し、旬の野菜を献立に取り入れるよう心がけた。

今年度もまた、おかずを主菜・副菜・汁物とし、午前午後のおやつも手作りで提供した。また延長保育の補食は、27年度からとりやめにしたが、時々保護者の方から、強く希望された時は、提供するようにした。

3 事故防止について

事故防止は保育の大きな目標であることを認識し、保育中における子どもへの安全配慮その他事故防止について常に留意した。

また、機会あるごとに交通ルールの遵守指導、避難訓練等火災予防の実施等をすると共に、保護者に対しても子どもの事故防止について認識を深めるための協力を求めた。

1歳児になると、どうしても園児どうしの噛みつきが始まる。発達上の問題であることを、保護者の方に理解して頂いたり、園児の爪の確認と噛みつき禁止の教育をご家庭でもして下さるようお願いした。

28年12月ごろは、熊本県下嘔吐下痢症が蔓延していたので、ふれあい会と合同の防火餅つき大会は中止した。29年度はどうするか、今から検討していきたい

4 保育環境の整備について

園児数の減少により予算がかなり落ち込み、簡単に新しい遊具を入れることは、これまでのようにはできにくくなっている。なるべく今あるものを大切にすることに今年度も心がけ、月4回の園独自による安全点検を励行した。

この安全点検の結果、28年度は、海賊船のペンキの塗りなおしと修繕、ロケット基地の補

修に力をいれた。これ全て当園指導主任の赤尾陽子の夫の赤尾周策氏が誠心誠意をこめてたずさわって下さり、今までの業者に頼んでいた時よりも何十倍もの完璧度で修理が完成している。

VI 地域活動事業の実施について

地域に開かれた社会資源としての保育園を地域住民等のために活用する一環として、28年度も、富岡高齢者大学の会員からふれあい参加希望者を募り、その方たちと年5回のふれあい会を実施した。

また今年度も花祭りや運動会や発表会も当児童クラブの小学生も入れて行い、就学前から小学校低学年までを視野に入れた教育を実施するよう心がけ、22年度から始まった運動会の学童クラブによるお手伝いも、今年も行い、1・2年生たちが運動会の運営に大きな力を発揮してくれた。

伝承を初めて26年目に当たる富岡の伝承芸能である「シャギリ」（平成2年度より始めた）は、保存会の稲尾利男先生の指導を受けて、28年度も受け継いでいった。

ボランティア精神を子どもの中にどう育むかを、考えなければいけないと感じているが、困っている人のために働く楽しさを感じられる子どもの育成をどうするか、来年度もこの課題を掲げていきたい。

VII 育児講演会について

ただ偉い先生のお話を聞くだけでうちの保護者は変わってくれるであろうか。如何に親を育てるかが今日的課題であるのは、変わらない。それで28年度は、育児講演会という形はとりやめ、ひよことりす組のおしゃべり会と離乳食講習会に力を入れた。この2クラスは保育面談も実施した。

しかしほかのクラスは、保護者と話し合っておかねばならない時だけ面談をただけであった。保育士も保護者も忙しすぎたようだった。これは29年度の課題としたい。

VIII 職員研修について

これからの保育園運営には、保育の内容の向上が不可欠との認識に立ち、職員の資質向上を図るため、保育団体に依る研修会には、例年通り必ず職員が参加するようにした。

園内研修会としては、元九州保健福祉大学副学長の小関康之先生ご夫妻に3回おいで頂き、発達障がいの子どもの発達援助法を全職員みっちり研修した。

IX 第三者評価

中身の向上が何よりも大切な時代という認識に鑑み、第三者評価を受ける準備にかかっていくつもりではあったが、これを受けてのメリットがまだ見えず、今年も見送った

X 28年度に力を入れたこと・・・職員の給与の改善

保育士の待遇改善が世間で叫ばれ始め、給付費が増えて入ってくるようになった、それで職員の給与の改善を図った。26年度末から28年4月までで8等級、上げてみた。27年で4等級、28年でまた4等級上がったことになる。来年から人件費が足りなくなったら、人件費積立金を崩しながら、最後の日まで頑張り続けたい。

平成28年度行事報告

自 平成28年4月1日

至 平成29年3月31日

28年

- 4月 2日(土) 平成28年度入園・進級式・保護者の会総会
- 4月10日(日) 歓迎親子遠足 ビジターセンター
- 5月 8日(日) 花祭り
- 5月11日(水) おしゃべり会 ひよこ組
- 5月25日(水) ふれあい交流会 お見知り会
- 5月30・31日(月・火) 第1回小関先生随意運動プログラム
- 6月18日(土) 第1回離乳食講習会・おしゃべり会 ひよこ・りす組
- 7月 6日(水) ふれあい交流会 七夕会
- 7月16・17日(土・日) 年長児サマーキャンプ
- 7月20日(水) おしゃべり会 ひよこ・りす組
- 7月30日(土) 富岡保育園夏祭り
- 9月18日〔日〕 ふれあい運動会
- 10月 3日(月) 交通安全タッチ運動 年長児
- 10月 8日(土) 人形劇「ピノキオ」2歳児～学童
- 11月 5日(土) 第2回離乳食講習会・おしゃべり会 ひよこ・りす組
- 12月 3日(土) 保育参観・給食試食会
- 12月6・7日(水・木) 第2回小関先生随意運動プログラム
- 12月17日(土) 富岡高齢者大学との交流会(防火もちつき大会)は、ノロウイルスによる

感染症予防のため中止

29年

- 2月 5日(日) 富岡高齢者大学との合同のほほえみ発表会
- 2月18日(土) 年長児 親子クッキング
- 3月 9日(水) 年長児お別れバス遠足
- 3月13・14・15・16(月・火・水・木) 第3回小関先生随意運動プログラム
- 3月26日(日) 卒園式